

災害看護支援ナース活動報告

報告者 : 加藤ゆかり

所属施設 : 五泉訪問看護ステーション

報告月日 : 令和6年2月5日

活動日	令和6年1月30日(火)～2月2日(金)
活動場所	いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナ
活動内容	<p>メインアリーナにてブロック担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭痛者の対応</li> <li>・転倒、転落者のV/S、状態観察</li> <li>・内服確認、介助、点眼介助</li> <li>・内服自己管理評価、カレンダー管理の服薬確認、内服管理困難者へ薬剤師に依頼</li> <li>・コロナ陽性者、同テント者V/S、状態観察</li> <li>・発熱者、V/S、状態観察</li> <li>・食事摂取の確認、排便状況、</li> <li>・退所希望者の対応</li> <li>・外泊者の確認</li> </ul> <p>1/30(火) 16:30～1/31(水) 9:00 2/1(木) 8:30～17:00    2/2(金) 8:30～15:00</p>
所感	<p>災害から約一カ月経過。高齢者がほとんど。特養に入所されていた方、一人暮らしの方、若い方は別の避難所に行き仕事をされている様子。一部施設のような印象。個々のテントがプライベート空間、生活の場であることを忘れないように活動した。</p> <p>様々な職種のスタッフが揃っていた。ビブスを着用していたため役割が一目でわかった。</p> <p>支援期間が三泊四日の為、どのように引き継ぎをしたらいいのか、改めて継続看護の必要性を感じた。送迎のバスの時間が決まっているため、時間内に業務が終わるようにスケジュール管理に務めた。</p> <p>他の職種の方と何かあれば直接報告し合っただけではしたが、情報共有が少なくお互いに分からないことが多かったように感じた。担当の方がいつの間にか退所したり、外泊が延長したりした。確認に時間を要した。貴重な体験をさせて頂き感謝します。</p>